

報道関係者 各位

平成 29 年 3 月 17 日

【照会先】

医政局医事課試験免許室

試験専門官 中園 健一(内線 2578)

国家試験係長 高原 裕弥(内線 2574)

(代表電話) 03(5253)1111

第 110 回歯科医師国家試験の合格発表について

平成 29 年 2 月 4 日(土)及び 5 日(日)に東京都他 7 カ所において実施した第 110 回歯科医師国家試験の合格者を発表しました。今回の歯科医師国家試験の合格者数等は次のとおりです。

記

| | (出願者数) | (受験者数) | (合格者数) | (合格率) |
|-----|---------|---------|---------|-------|
| 新卒者 | 2,462 人 | 1,855 人 | 1,426 人 | 76.9% |
| 全体 | 3,691 人 | 3,049 人 | 1,983 人 | 65.0% |

第110回歯科医師国家試験の合格基準

第110回歯科医師国家試験の合格基準は、

一般問題（必修問題を含む）を1問1点、臨床実地問題を1問3点とし、

- ① 領域A（総論） 70点以上／109点
- ② 領域B（各論Ⅰ～Ⅲ） 132点以上／180点
- ③ 領域C（各論Ⅳ～Ⅵ） 136点以上／209点
- ④ 必修問題 56点以上／70点

但し、必修問題の一部を採点から除外された受験者にあつては、
必修問題の得点について総点数の80%以上とする。

- ⑤ 禁忌肢問題選択数 2問以下

とする。

第110回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 15 問

15 全身性の発疹を引き起こす病原体はどれか。1つ選べ。

- a EBウイルス
- b 麻疹ウイルス
- c ロタウイルス
- d ムンプスウイルス
- e サイトメガロウイルス

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第110回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 113 問

113 キレート結合で硬化するのはどれか。1つ選べ。

- a 水硬性仮封材
- b リン酸亜鉛セメント
- c グラスアイオノマーセメント
- d 酸化亜鉛ユージノールセメント
- e ポリカルボキシレートセメント

(採点上の取り扱い)

複数の選択肢を正解として採点する。

(理由)

設問が不明確で複数の選択肢が正解と考えられるため。

第110回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 20 問

20 9歳の男児。歯の審美不良を主訴として来院した。色調と粗造感は萌出時から変化していないという。軽度の冷温痛がみられるが、自発痛はない。初診時の口腔内写真(別冊No. 17)を別に示す。

考えられる原因はどれか。1つ選べ。

- a 熱性疾患
- b 遺伝性疾患
- c ビタミンK欠乏
- d フッ化物の過剰摂取
- e 炭酸飲料水の頻回摂取

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理由)

問題として不適切であるため。

第110回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 2 問

2 単一遺伝子病に関連するのはどれか。1つ選べ。

- a 染色体数の異常
- b メンデル遺伝形式
- c 常染色体の構造異常
- d 性染色体の構造異常
- e 胎生期ウイルス感染

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第110回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 5 問

5 双手診が適しているのはどれか。1つ選べ。

- a 舌
- b 顎下腺
- c 口唇腺
- d 耳下腺
- e 頸部リンパ節

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。

第110回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 10 問

10 *Actinomyces viscosus* の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 芽胞形成能
- b 線毛の存在
- c 偏性嫌気性
- d 黒色色素産生性
- e リポ多糖の存在

(採点上の取り扱い)

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

(理由)

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第110回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 54 問

54 歯科診療所開設時に都道府県知事へ届け出るのはどれか。1つ選べ。

- a 医療安全管理者の氏名
- b 管理者の保険医登録番号
- c 管理者連絡用の電話番号
- d 勤務する歯科衛生士の氏名
- e 診療従事歯科医師の診療時間

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

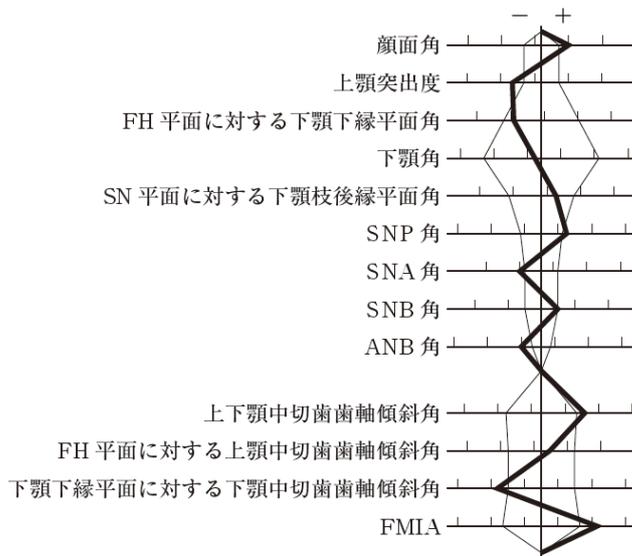
(理 由)

設問が不明確で正解が得られないため。

第110回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 31 問

31 9歳の男児。上顎両側犬歯の位置異常を主訴として来院した。前歯部で早期接触が認められたが、下顎位の前方偏位は0.5mm程度であった。初診時の顔面写真(別冊No. 30A)、口腔内写真(別冊No. 30B)及びエックス線写真(別冊No. 30C)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



第一期治療における治療方針で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 下顎の後下方回転
- b 下顎前歯の唇側移動
- c 下顎大臼歯の遠心移動
- d 上顎骨の前方成長促進
- e 上顎第一小臼歯の抜去

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理由)

設問が不明確で正解が得られないため。

歯科医師国家試験 合格者数等の推移

| 回数 | 施行年月日 | 受験者数(人) | 合格者数(人) | 合格率(%) |
|-------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 第101回 | 平成20年2月9～10日 | 3,295 (2,487) | 2,269 (1,948) | 68.9 (78.3) |
| 第102回 | 平成21年2月7～8日 | 3,531 (2,516) | 2,383 (1,915) | 67.5 (76.1) |
| 第103回 | 平成22年2月6～7日 | 3,465 (2,355) | 2,408 (1,921) | 69.5 (81.6) |
| 第104回 | 平成23年2月5～6日 | 3,378 (2,356) | 2,400 (1,928) | 71.0 (81.8) |
| 第105回 | 平成24年2月4～5日 | 3,326 (2,311) | 2,364 (1,882) | 71.1 (81.4) |
| 第106回 | 平成25年2月2～3日 | 3,321 (2,373) | 2,366 (1,907) | 71.2 (80.4) |
| 第107回 | 平成26年2月1～2日 | 3,200 (2,241) | 2,025 (1,642) | 63.3 (73.3) |
| 第108回 | 平成27年1月31日～2月1日 | 3,138 (1,995) | 2,003 (1,457) | 63.8 (73.0) |
| 第109回 | 平成28年1月30～31日 | 3,103 (1,969) | 1,973 (1,436) | 63.6 (72.9) |
| 第110回 | 平成29年2月4～5日 | 3,049 (1,855) | 1,983 (1,426) | 65.0 (76.9) |

※()内は新卒者を示す

歯科医師国家試験 男女別合格者等の推移

| 回数 | 受験者数(人) 男女比(%) | 合格者数(人) 男女比(%) | 総数 | | 男女別合格率(%) | |
|------------------|-------------------|-------------------|-----------------|-----------------|-----------|------|
| | | | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 |
| 第106回 (平成25年) | 受験者数(人) | 3,321 | 2,035 (61.3) | 1,286 (38.7) | 68.3 | 75.9 |
| | 合格者数(人) | 2,366 | 1,390 (58.7) | 976 (41.3) | | |
| 第107回 (平成26年) | 受験者数(人) | 3,200 | 1,998 (62.4) | 1,202 (37.6) | 59.8 | 69.1 |
| | 合格者数(人) | 2,025 | 1,194 (59.0) | 831 (41.0) | | |
| 第108回 (平成27年) | 受験者数(人) | 3,138 | 1,955 (62.3) | 1,183 (37.7) | 58.9 | 72.0 |
| | 合格者数(人) | 2,003 | 1,151 (57.5) | 852 (42.5) | | |
| 第109回 (平成28年) | 受験者数(人) | 3,103 | 1,984 (63.9) | 1,119 (36.1) | 59.6 | 70.6 |
| | 合格者数(人) | 1,973 | 1,183 (60.0) | 790 (40.0) | | |
| 第110回 (平成29年) | 受験者数(人) | 3,049 | 1,952 (64.0) | 1,097 (36.0) | 61.7 | 71.0 |
| | 合格者数(人) | 1,983 | 1,204 (60.7) | 779 (39.3) | | |

第110回歯科医師国家試験 卒業年次別受験者数・合格者数・合格率

| 卒業年次 | 受験可能回数 | 受験者数(人) | 構成比(%) | 合格者数(人) | 合格率(%) |
|-----------------|--------|---------|--------|---------|--------|
| | | | | | |
| 平成28年4月～平成29年3月 | 1回 | 1,855 | 60.8 | 1,426 | 76.9 |
| 平成27年4月～平成28年3月 | 2回 | 629 | 20.6 | 370 | 58.8 |
| 平成26年4月～平成27年3月 | 3回 | 213 | 7.0 | 117 | 54.9 |
| 平成25年4月～平成26年3月 | 4回 | 104 | 3.4 | 33 | 31.7 |
| 平成24年4月～平成25年3月 | 5回 | 63 | 2.1 | 19 | 30.2 |
| 平成23年4月～平成24年3月 | 6回 | 26 | 0.9 | 4 | 15.4 |
| 平成22年4月～平成23年3月 | 7回 | 28 | 0.9 | 6 | 21.4 |
| 平成21年4月～平成22年3月 | 8回 | 18 | 0.6 | 1 | 5.6 |
| 平成20年4月～平成21年3月 | 9回 | 35 | 1.1 | 3 | 8.6 |
| 平成20年3月以前 | 10回以上 | 78 | 2.6 | 4 | 5.1 |
| 計 | | 1,194 | 39.2 | 557 | 46.6 |
| 総計 | | 3,049 | 100.0 | 1,983 | 65.0 |